

第1回 天王寺区 区政戦略会議について

平成24年10月18日（木）19時から天王寺区役所 5階 502会議室におきまして第1回天王寺区区政戦略会議を開催しました。

次第

- 1 開会
- 2 区長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 議題
 - ・議長の互選、議長による副議長の指名
 - ・天王寺区の強み／弱み、目指すべき方向性
 - ・第1回政策チェック ～平成24年度天王寺区市民協働課の所管事業をチェックする～
 - ・天王寺区防災計画について（説明）
- 5 閉会

議事概要

- 1 区役所からの資料説明等
 - ・天王寺区の弱み／強みについて
- 2 意見交換

○委員より次のような意見があった。

（強み）

 - ・学校が多く、文教地区のイメージがある。
 - ・地域での昔からの横のつながりは強い。祭りやもちつき等のイベントにも地域の人達は協力的である。
 - ・病院やスーパーが多く、便利で生活がしやすいと感じる。

（弱み）

 - ・マンションが増加しているが、新住民と旧住民が知り合う機会が少ない。
 - ・食事場所や待合わせポイントを捜すのに手間がかかる。そういう「へそ」となる所がない。
 - ・「天王寺」の由来を広く知らせるなど、自分の住んでいる地域を知るためにやることはまだまだたくさんある。
 - ・大通りから路地に入ると、途端に歩いている人が少なくなり、暗い道もある。区全体として住民の所得が高いためか、数年前までは引ったくり件数が多かった。

(その他)

- ・災害対策や福祉の点から考えても、町会加入率を高めることが課題解決の近道になるのでは。加入率の低いマンションに町会加入を勧めてもよいのでは。
- ・町会が何を目的としているのか、やっている人の中にも分かっていない人がいる。町会活動は災害時の「保険」でもあり、何を目的としているのかを示せば加入率も上がるはず。ただの「つきあい」ではないことをインフォメーションすべき。
- ・町会に入るのに、お金を払わなければならない、そうでないと回覧板もまわしてもらえない、というのはおかしい。
- ・今の町会のままではだめ。ベースにするのはいいが、入らない人達との間にギャップがありすぎる。
- ・区役所として、地域の将来についてのビジョンを示してほしい。現在のホームページでは分かりづらい。区役所にそのための担当をつくり、そこから地域の将来を見据えるべき。

○区役所からは次のような回答を行いました。

- ・天王寺区における町会加入率は約 51%と住民の半分が加入しており、今の町会が直ちにだめ、ということではないはず。今後については、区役所と地域が一緒になって考えていかなければならない。ただ、町会加入率がすぐに上昇するか、ということは厳しいと思われる。では、災害が起きたときに、町会未加入者はどうなるのか？町会未加入者を切捨ててはいけないので、未加入者も含めた防災のグランドデザインを考えていくこととしたい。

3 区役所からの資料説明等

- ・政策チェックについて（家具固定ワークショップ）

4 意見交換

○委員より次のような意見があった。

- ・家具固定率を上げるには、ワークショップを行うのではなく、町会を通じて各家庭に固定グッズを配付するのが一番早道ではないのか。町会内でのコミュニケーションのきっかけにもなる。ワークショップもいいとは思いますが、費用対効果を考えると、配付したほうが効率がよい。
- ・ワークショップに参加したが、いい経験であり、帰宅してすぐに家具固定を行った。特に高層マンションでやってもらえたらいいのではないかと。
- ・ワークショップがあると聞いても、イメージがわかず行かないと思う。それよりも、固定グッズの販売業者の情報等も含めた災害対策のための天王寺区版のガイド本を作成して配ってほしい。

- ・マンションで行う避難訓練のために、年に 1 度は消防署へいく。消防署などにも広報のポスターなどがあればよいのではないかな。広報紙だけでなく、様々な手段で知らせてほしい
- ・ワークショップは実績が 6 回で参加者が 102 名なので、一人当たりの費用が 5,800 円もかかっていることになる。もし参加するのに 5,800 円必要となれば、誰も行かない。
- ・大人数で無理ということであれば、ワークショップの内容がわかるビデオを作してほしい。
- ・固定グッズを販売する企業から資材の提供を受け、代わりにワークショップでその企業の広報を行うといった方法は取れないのか。

○区役所からは次のような回答を行いました。

- ・(各家庭への家具固定グッズの配布に対して)
家具の種類によって、必要な固定グッズが異なるため、一律の配付は難しい。ただ、天王寺区において 65 歳以上の 4 割が独居、というデータもあり、そういう人達はワークショップをやっても自分で家具固定をすることができない場合も多い。今後は、訪問型の家具固定事業も検討したいと考えている。
- ・(災害対策のための天王寺区版のガイド本を作成に対して)
「天王寺区防災計画」を策定中であり、各戸配布を予定している。
- ・(一人当たりの単価が 5,800 円もかかっていることに対して)
ワークショップの性質上、大人数で開催することは難しく、予算の都合上、参加者数はどうしても限られてしまう。これまで経費削減に努めているところであるが、単価としてはまだ高い。
- ・(固定グッズを販売する企業からの資材の提供に対して)
いかに魅力的なイベントとしてアピールするかが必要。企業協力も含め、今後検討していく。

5 区役所からの資料説明

- ・天王寺区防災計画について説明後、意見があれば区役所までご意見をいただく。